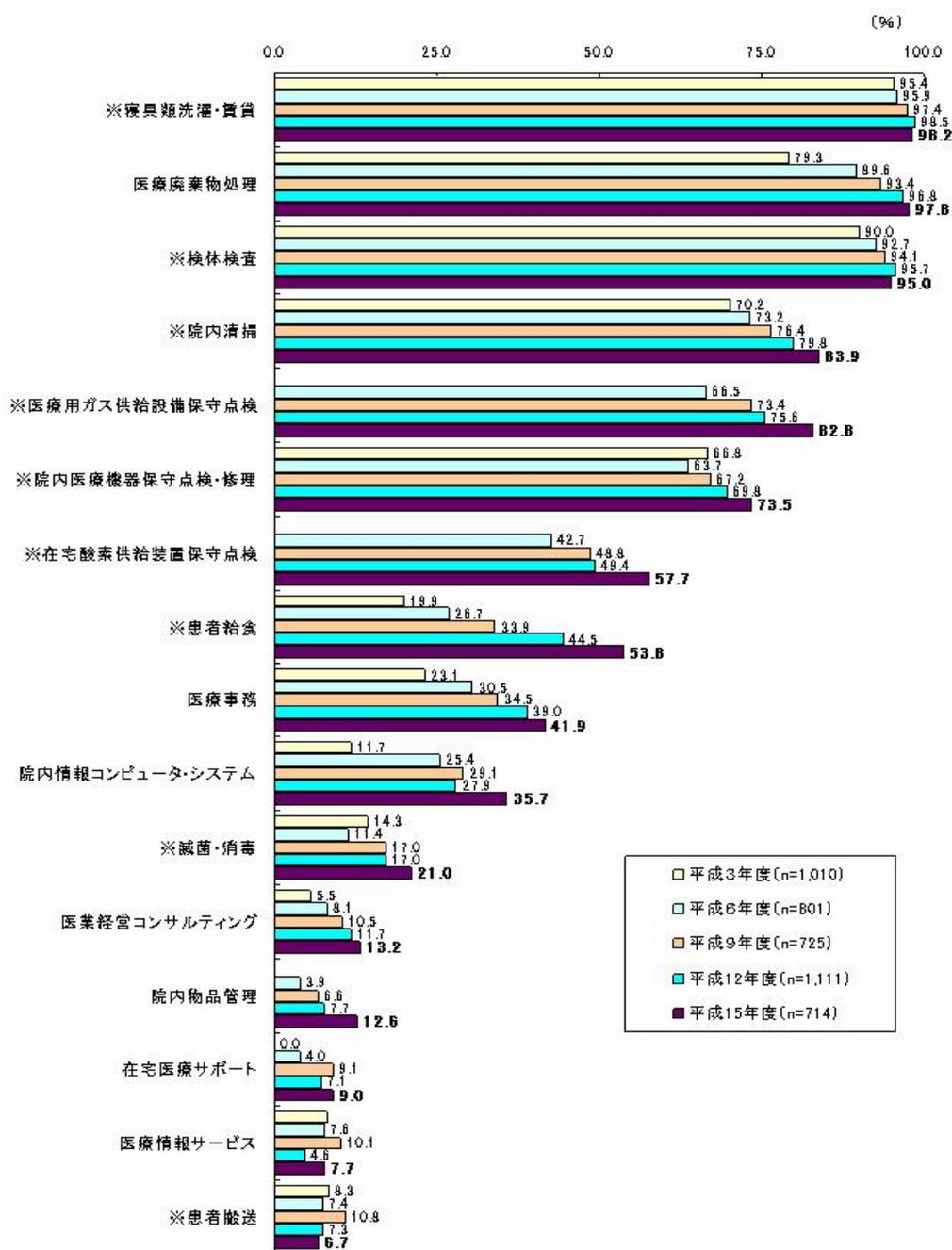
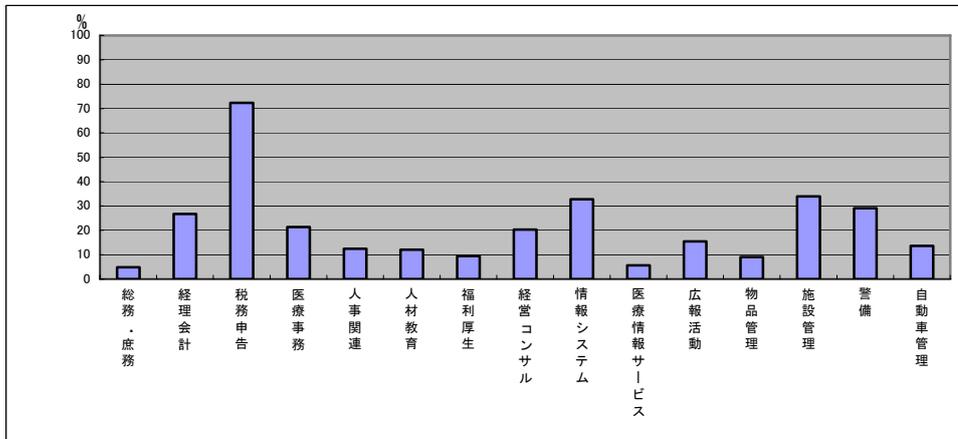


表 3.4: 病院組織における委託状況表(その1)



委託事業者の活用については、その病院の職員の構成や状況、病床規模、患者数や診療科の数等により当然異ってくるが、一般的な趨勢としては上記の傾向は概ね病院関係者の意識とも大きな差異はないものと考えられる。なお、調査の対象となっている委託業務の種類は異なるが、病院の委託業務に関する(医業外の側面に着目した)別の調査結果(平成14年3月厚生労働省医政局委託「医療施設経営安定化推進事業」病院におけるアウトソーシング等の活用について)は下記のとおりである。

表 3.5: 病院組織における委託状況表(その2)



上記の表からは、病院の委託業務について次のような傾向となっている。

1. 全体的に医業関連外の業務に関しては、委託は必ずしも活発ではない。また経理や庶務等一般事務関係の業務について委託している病院は限られる。
2. 医療情報については、コンピューターなどのシステム関係については委託している場合がやや多い。

これら一般の事務支援や内部業務に関しては、意識はありながらも、そもそもかかる業務自体が十分になされていないか、あるいは委託自体のニーズも意識されにくいというのが実体であろう。